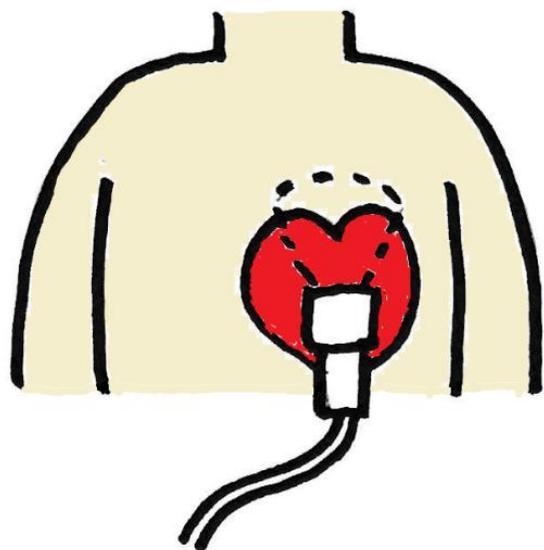


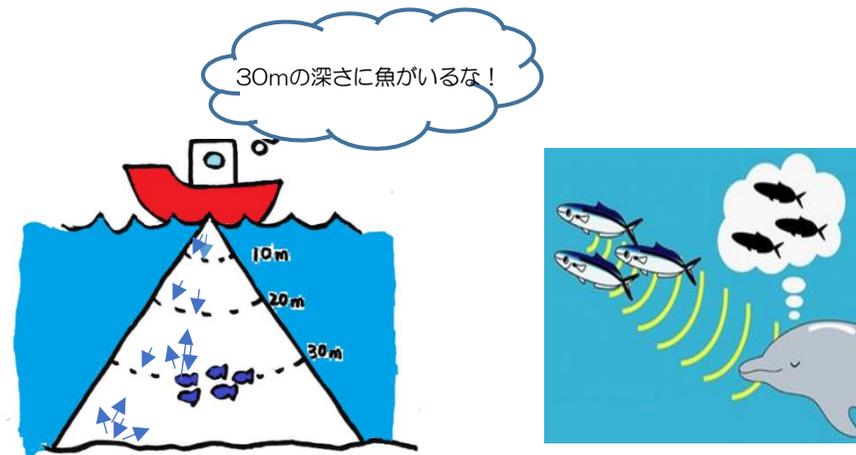
心臓超音波検査(心エコー)



超音波(エコー)とは?

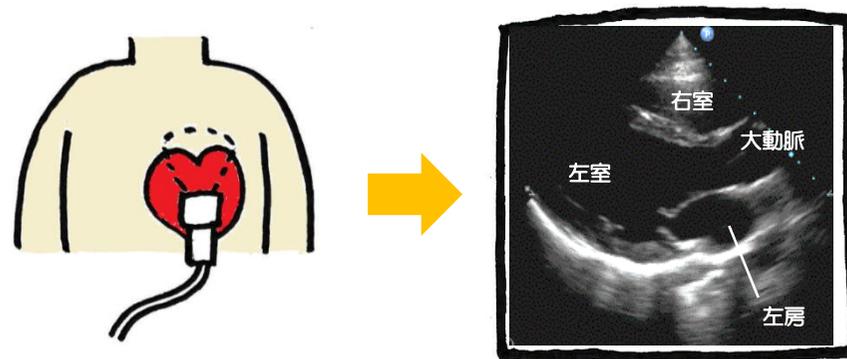
超音波とは人の耳には聞こえない高い周波数の音のことをいいます。超音波検査の仕組みは、超音波を海中に向かって発射し、魚がどれくらいの深さにいるかを調べる漁船の魚群探知機やイルカのエコーロケーションと同じようなものです。

検査に用いる超音波の周波数は2~20MHz(メガヘルツ)程度で、人の体に害をもたらさない安全なものです。



心臓超音波検査(心エコー)とは?

胸の上にあてた小さな機械(プローブ)から超音波を出し、心臓の筋肉や弁にあたってはね返ってきた超音波を受信し、それを画像にすることで心臓の中の様子を知ることができます。



超音波検査装置モニター

検査の様子

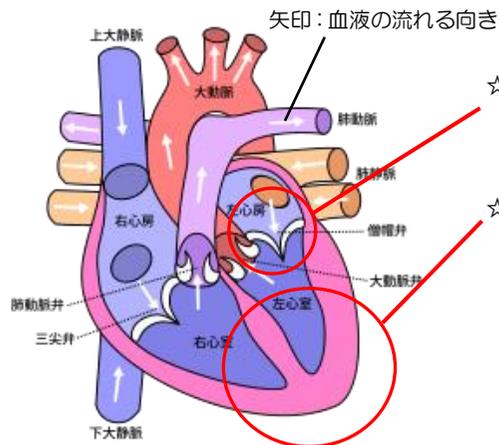
ベッドに横になっていただきます。胸に検査用のゼリーを塗り、モニターを見ながらプローブを胸にあて、心臓の各部位を観察します。検査時間は体形や疾患の有無により異なりますが、40分前後で終わります。



心臓を見やすくするため
深呼吸をお願いすることがあります

心臓超音波検査（心エコー）でわかること

- 心臓の大きさ、形、心臓の壁の厚さ、動きがわかります。
疾患例) 心筋梗塞、拡張型心筋症、閉塞性肥大型心筋症など
- 弁の異常、血流の流れがわかります。
疾患例) 弁狭窄症、弁閉鎖不全症、弁逸脱症、心房中隔欠損症など



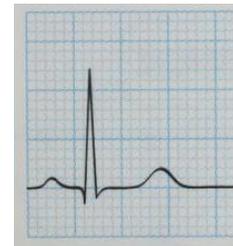
- ☆弁不全や狭窄などがないか。
逆流など、血流の異常がないか。
- ☆心臓の大きさ、壁の厚さ、
動きなどに異常がないか。

経食道心エコーと心エコーはどう違うの？

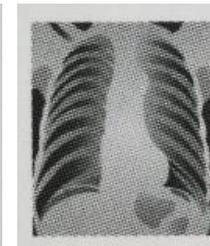
胃カメラでカメラのついた管を飲んで検査するように、先端にプローブのついた管を飲み込んで食道から心臓を見る検査です。体の表面から心臓を見る通常的心エコーとは違う方向から観察でき、心臓までの距離が近いので細かい情報を得ることができます。プローブを飲み込むのに少なからず苦痛が伴うため、のどに麻酔をしてから検査します。

心臓のその他の検査

- 心電図（標準12誘導心電図、24時間心電図、運動負荷心電図）
：不整脈がないか、心臓が大きくなってないか
- 胸部レントゲン：心臓が大きくなってないか
- CT・MRI：腫瘍や血の塊がないか、周りの血管に異常がないか
- 心臓カテーテル：心臓の血管が狭くなってないか、治療にも使われるなど…



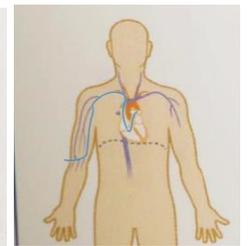
心電図



レントゲン



CT



心臓カテーテル